

# 令和7年度 山形のみちづくり評議会

日時：令和8年3月6日（金）15:00～16:30

場所：山形県自治会館 602号会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

### 3. 議 事

（議題）令和6年度 道路事業の達成度報告・・・・・・・・・・ 資料1

### 4. 情報提供

（内容）「山形県道路中期計画2028」の策定経過・・・・・・・・・・ 資料2

（内容）ゾーン30プラスの成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料3

（内容）ウォークアブルなまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料4

（内容）空洞化調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料5

（内容）冬期コールセンター導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料6

（内容）道路脱炭素化の取組について・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料7

### 5. 閉 会

令和7年度 山形のみちづくり評議会委員名簿

	氏 名	役 職	地 区	出 欠	備 考
会 長	柴田 洋雄	山形大学名誉教授	全県	○	(会場)
委 員	貝山 道博	埼玉大学名誉教授 東北文化学園大学名誉教授	全県	○	(会場)
	中谷 文彦	NHK山形放送局 局長	全県	○	(会場)
	塩原 未知子	有限会社テンプレス アートディレクター	村山地域	○	(会場)
	柴田 薫	わらべ唄の宿 湯の原 女将	最上地域	×	
	宮原 博通	株式会社 和のくらし文化研究所 代表取締役	置賜地域	○	(会場)
	鈴木 裕士	鶴岡銀座商店街振興組合 理事長	庄内地域	×	
	工藤 亜紀子	エイエスエムトランスポート株式会社 代表取締役	庄内地域	×	
	佐藤 博	東日本高速道路株式会社東北支社 山形管理事務所 所長	全県	○	(会場)
	岡本 直剛	国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 所長	全県	○	(会場)
	永尾 慎一郎	山形県県土整備部 部長	全県	○	(会場)

(敬称略)

# 令和 6 年度 達成度報告書

山形県県土整備部道路整備課  
道路保全課  
都市計画課

令和8年3月6日

## 1 山形県道路中期計画について

1

## 2 9つのみちづくり施策の達成状況

3

1. 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・  
機能強化と未事業化区間の着手 ..... 3
2. 広域道路ネットワークを活かす追加 IC（スマート IC 含む）  
及び IC や拠点へのアクセス道路の整備推進 ..... 7
3. 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援 ..... 11
4. 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化 ..... 14
5. 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進 ..... 18
6. 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の  
長寿命化と効率的な道路維持管理の推進 ..... 22
7. 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進 ..... 26
8. 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進 ..... 29
9. 山形の特性を活かした道路ストック（施設）をかしこく使うみちづくりの推進 ..... 33

## 3 総括

36

# 1 山形県道路中期計画について

## ■みちづくりの方針と施策

### 3つの柱

(活力創造・広域交流促進)

**1** 県内産業や観光の振興を支える  
社会基盤となるみちづくり

(安全・安心・保全・協働)

**2** 災害を未然に防止し安全・安心に  
利用できるみちづくり

(地域活性化・快適・効率化)

**3** 既存ストックを有効活用し快適な  
暮らしと地域の活力を生み出す  
みちづくり

### 9つの施策

① 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

② 広域道路ネットワークを活かす追加 IC（スマート IC 含む）及び IC や拠点へのアクセス道路の整備推進

③ 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

④ 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

⑤ 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

⑥ 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

⑦ 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

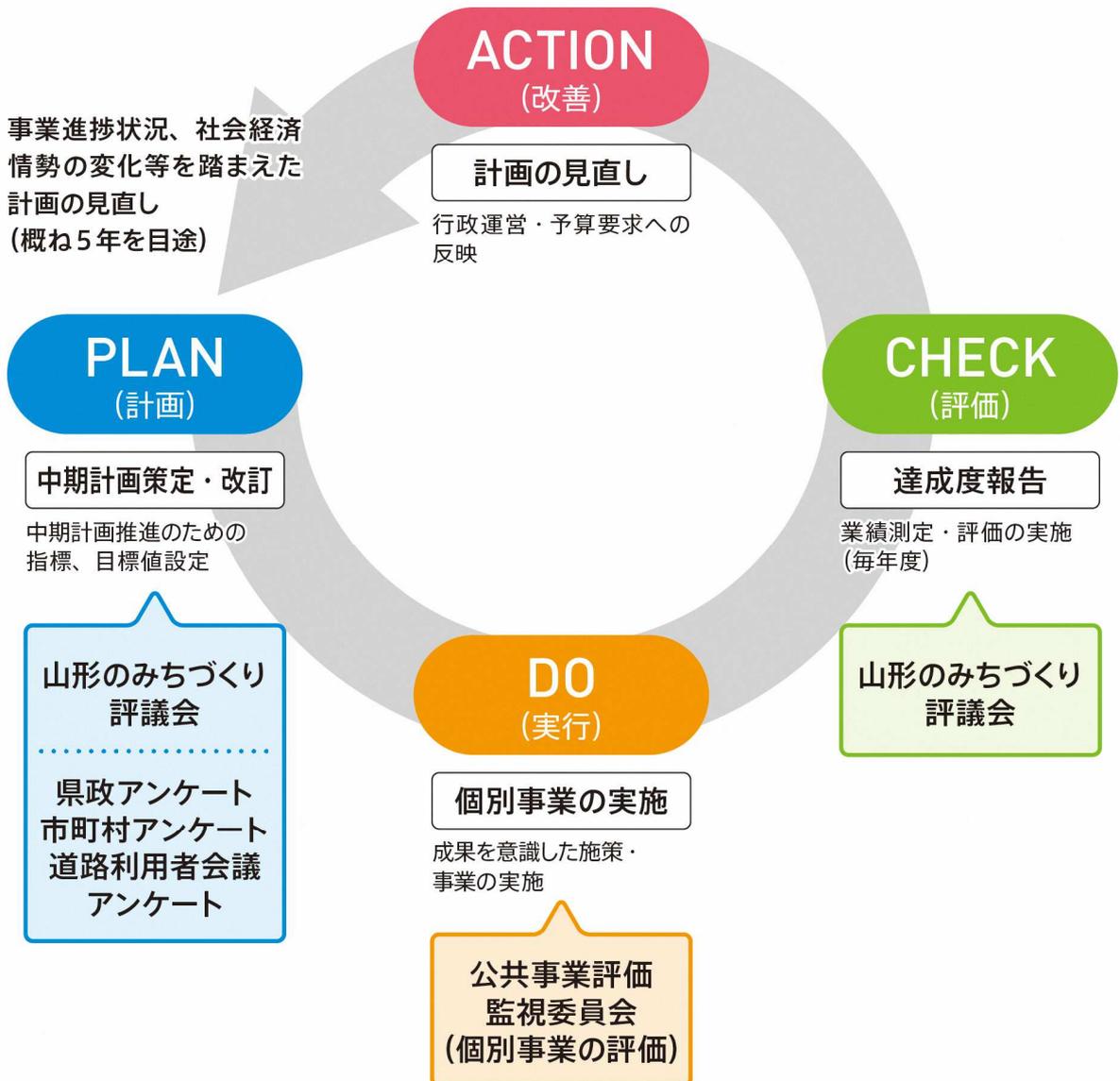
⑧ 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

⑨ 山形の特性を活かした道路ストック（施設）をかしこく使うみちづくりの推進

## ■施策の進め方

本計画に位置付けたみちづくりの施策の推進にあたっては、PDCA サイクルの考えに基づき、施策指標の達成状況や事業進捗状況を考慮し、取り組みを評価します。

社会情勢や財政状況の変化等に的確に対応するため、広く県民、県議会、市町村、道路利用者からの意見を求めながら、概ね5年を目途に計画の見直しを行います。



## 2 9つのみちづくり施策の達成状況

### 1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

#### 施策1

県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

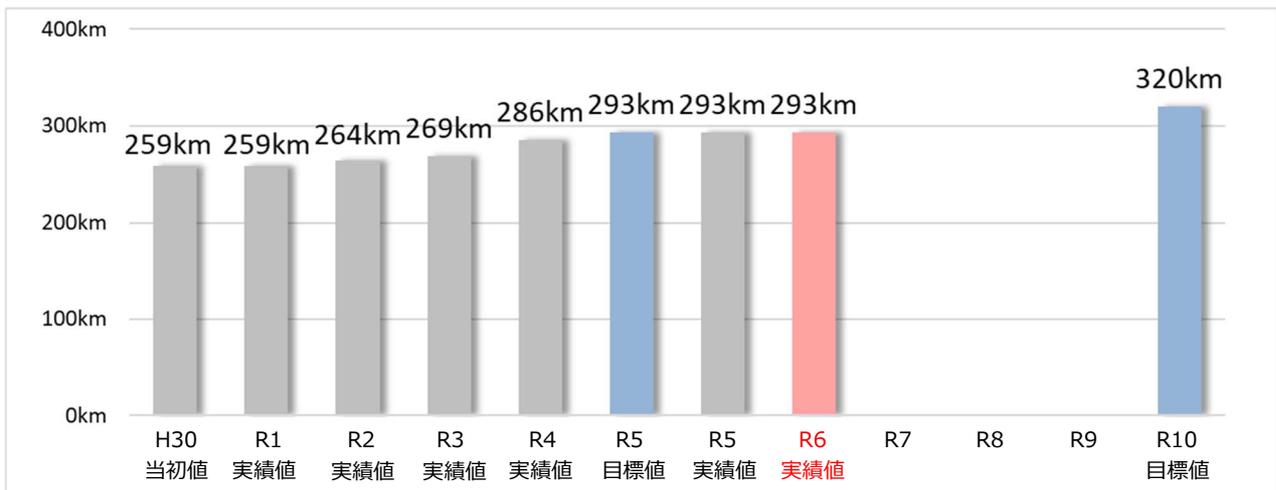
#### ■取組方針

- i) ミッシングリンクの早期解消による高規格道路と直轄国道等とのダブルネットワークの構築に向け、縦軸と特に横軸の整備促進と未事業化区間の事業化に向けた調査促進
- ii) 「重要物流道路(基幹道路)」の整備促進及び国際海上コンテナ車の通行に対応した構造不適合箇所・ぜい弱箇所の機能強化の促進
- iii) 高規格道路網や幹線道路の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進

#### ■指標

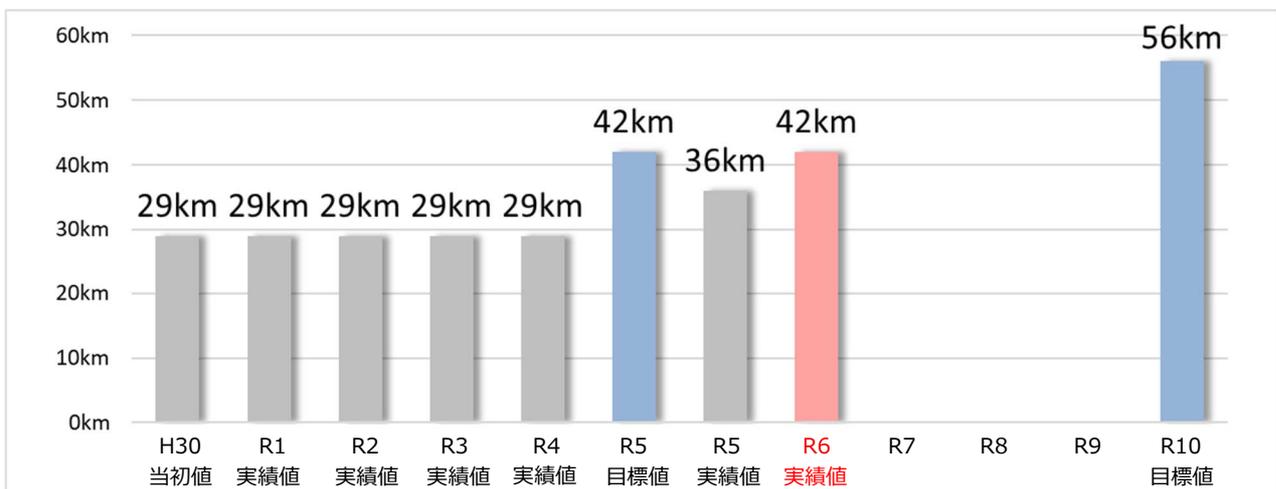
**指標(1) 高速道路の供用延長[供用率]** ※全線供用時約 340km

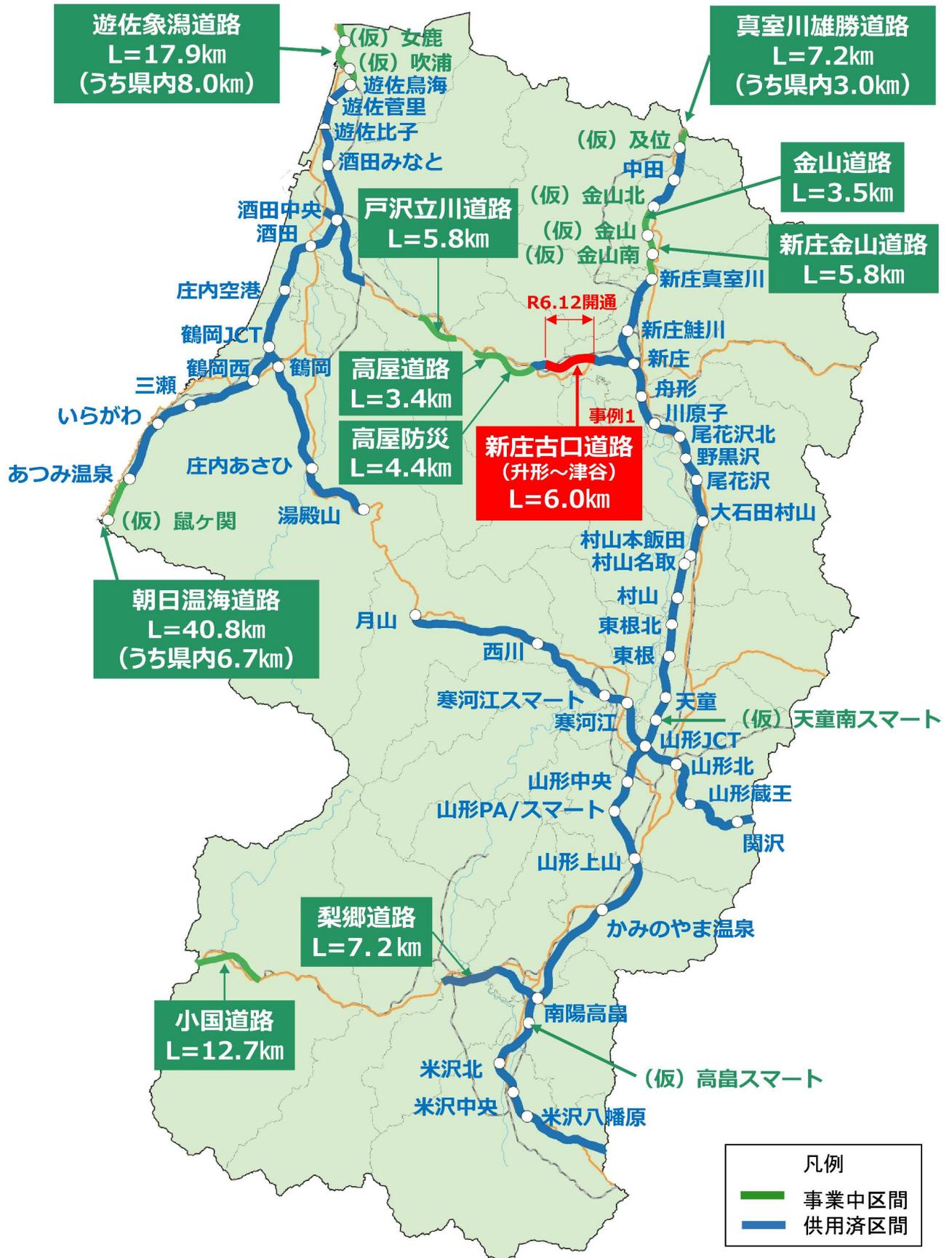
(R5)293km[86%] ⇒ (R6)293km[86%]



**指標(2) 地域高規格道路の供用延長[供用率]** ※全線供用時約 100km

(R5)36km[36%] ⇒ (R6)42km[42%]





▲山形県内の事業中の高規格幹線道路・地域高規格道路 (R7.3.31 現在)

■実施事業例1 【地域高規格道路の整備】

<p>事業名</p>	<p>国道47号 <small>しんじょうふるくちどうろ</small> 新庄古口道路 <small>しんじょうしますがた とざわむらつ や</small> (新庄市升形～戸沢村津谷)</p>
<p>事業内容</p>	<p>高規格道路新庄酒田道路の一部を構成する国道47号新庄古口道路のうち、山形県新庄市升形～戸沢村大字津谷までの延長6.0kmがR6.12.7に開通した。これにより、新庄古口道路(新庄市大字本合海～戸沢村大字古口間)10.6kmが全線開通となった。</p>
<p>R6整備内容</p>	<p>○新庄古口道路の一部の整備(令和6年12月7日開通)          ・新庄市升形～戸沢村大字津谷 L=6.0km</p> <div data-bbox="391 510 1150 1025"> <p>整備後</p> </div> <div data-bbox="1203 607 1433 976"> </div> <p style="text-align: right;">出典：山形河川国道事務所</p>

■達成状況と今後の取組み

	路線名 ( ): 県内延長	R6 まで 供用済	整備促進・供用を目指す区間 【】: 開通予定	新規着手を 目指す区間
高速道路	東北中央自動車道 (約 156km)	供用済 144km	事業中 12km ・新庄金山道路 ・真空川雄勝道路 ・金山道路	
	日本海沿岸東北 自動車道 (約 53km)	供用済 38km	事業中 15km ・遊佐象潟道路 ・朝日温海道路	
	東北横断 自動車道酒田線 (約 131km)	供用済 110km		未着手 21km ・(仮) 庄内内陸 月山連絡道路
地域高規格道路	新庄酒田道路 (約 50km)	供用済 27km ・新庄古口道路	事業中 14km ・高屋道路 ・高屋防災 ・戸沢立川道路	未着手 9km ・高屋～草薙 ・立川～余目
	新潟山形南部 連絡道路 (約 50km)	供用済 14km	事業中 11km ・小国道路	未着手 25km ・小国～長井
	石巻新庄道路 (約 30km)			未着手 30km ・宮城県境～新庄
追加IC・スマートIC	東北中央自動車道	・村山名取 IC ・村山本飯田 IC ・大石田村山 IC ・米沢中央 IC ・東根北 IC ・山形 PA/スマートIC	・高畠スマートIC (仮称) ・天童南スマートIC (仮称)	
	日本海沿岸東北 自動車道	・いらがわ IC ・三瀬 IC ・鶴岡西 IC ・庄内空港 IC		

## 施策2

広域道路ネットワークを活かす追加 IC(スマート IC 含む)及び IC や  
拠点へのアクセス道路の整備推進

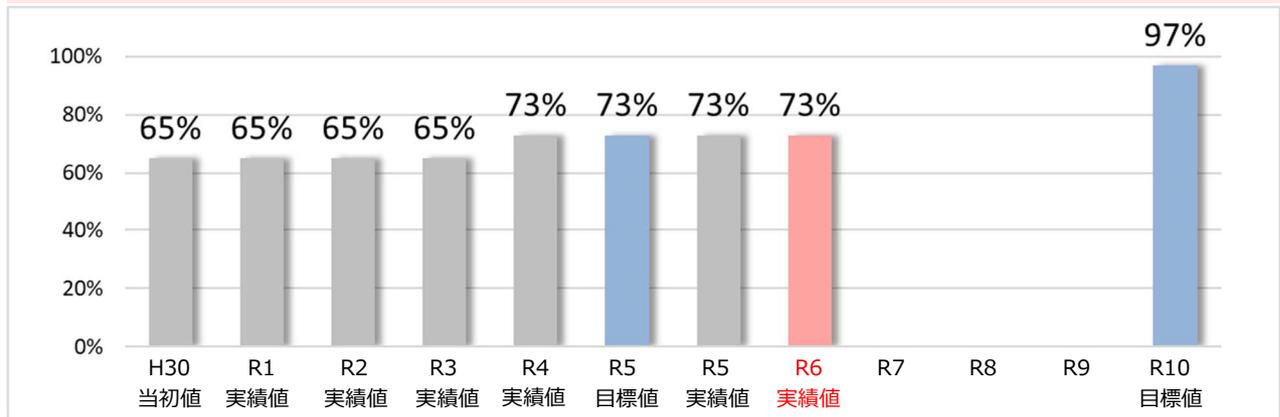
### ■取組方針

- i) 高規格道路を利用しやすい環境整備を図るため、追加 IC やスマート IC の整備を促進
- ii) 県内全域へのアクセス性向上に向け、高速道路など高規格道路の IC 等に接続するアクセス道路の整備を推進
- iii) 重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備を推進

### ■指標

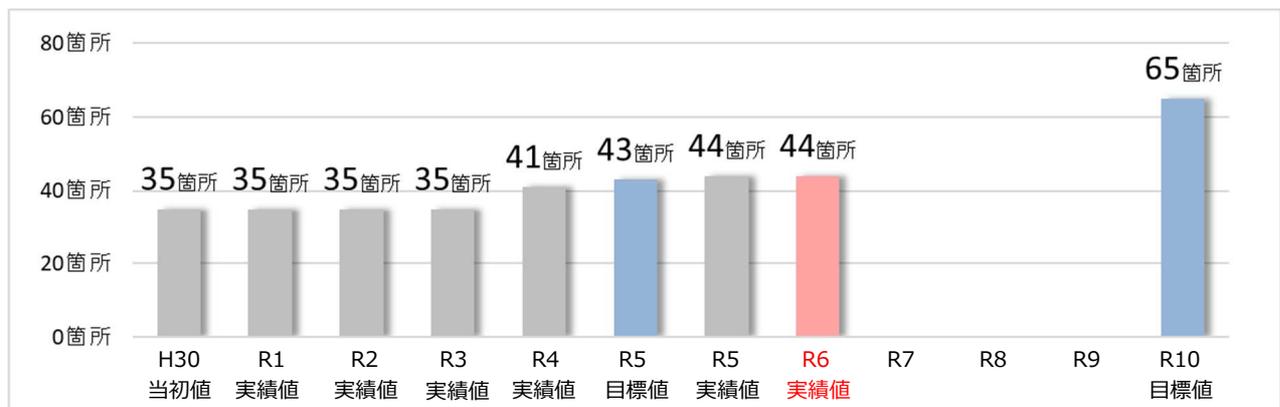
#### 指標(3) ICへ30分でアクセスできる人口の割合

(R5)73.3% ⇒ (R6)73.4%



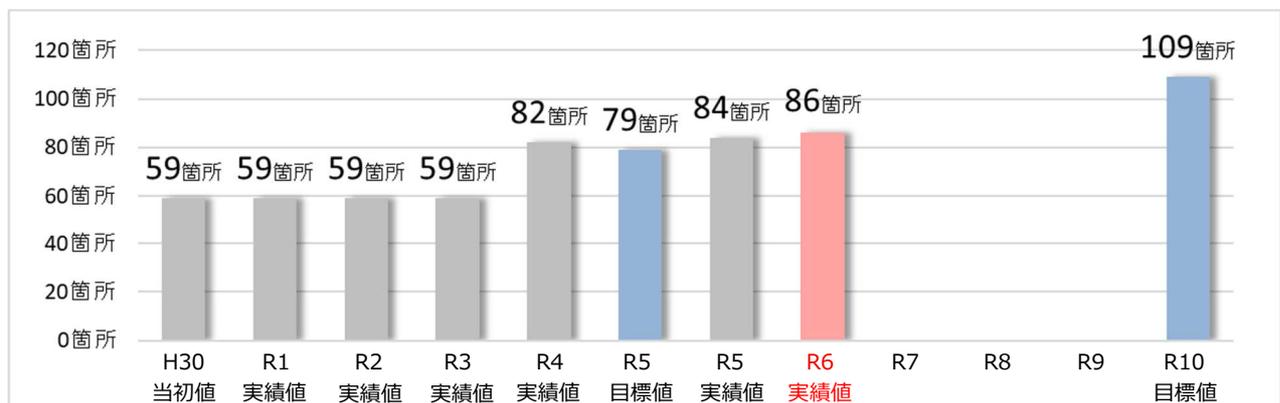
#### 指標(4) ICへ10分でアクセスできる工業団地数

(R5)44箇所 ⇒ (R6)44箇所



#### 指標(5) ICへ30分でアクセスできる主要な観光地数

(R5)84箇所 ⇒ (R6)86箇所





■実施事業例1 【拠点へのアクセス道路の整備】

<p>事業名</p>	<p>(国) 458号【本合海バイパス】バイパス整備  <small>もといかい</small>  <small>おおくらむらあいかい</small> ～ <small>おおくらむらしみず</small>          (大蔵村合海 ～ 大蔵村清水)</p>
<p>事業内容</p>	<p>一般国道458号は、山形県新庄市から上山市に至り、肘折温泉や学校などにアクセスする総延長112.5kmの一般国道である。          大蔵村合海～大蔵村清水間は、幅員狭小・線形不良により慢性的な渋滞、交通事故が発生する等、必要な機能を有していないため、大蔵村合海から大蔵村清水までの2.83km区間のバイパスを整備した。          本バイパスの整備により、渋滞が緩和されるとともに、降雪時や災害時における交通が確保された。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) NTTインフラネット All Rights Reserved</p>
<p>R6 整備内容</p>	<p>○本合海バイパスの整備          ・L=2,830m、W=6.5(9.5)[12.0]m          (令和6年8月4日供用開始)</p> <p>(整備前)</p>  <p>(整備後) 本合海バイパスの整備</p> 

## ■達成状況と今後の取組み

### 【令和6年度の達成状況】

路線名	箇所名	事業内容	アクセス先	中期計画※
(国) 458号	本合海バイパス	アクセス道路整備	新庄酒田道路	最上④

### 【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	アクセス先	中期計画※
-----	-----	------	-------	-------

#### [村山地域]

(主) 山形天童線	天童市成生～ 東根市羽入	アクセス道路整備	東北中央道東根 IC	村山④
-----------	-----------------	----------	------------	-----

など

#### [最上地域]

(主) 戸沢大蔵線	古口	アクセス道路整備	新庄酒田道路	最上⑤
-----------	----	----------	--------	-----

など

#### [置賜地域]

(国) 287号	米沢川西バイパス	アクセス道路整備	東北中央道米沢北 IC 新潟山形南部連絡道路	置賜④
(国) 287号	川西バイパス 【一部供用】	アクセス道路整備	東北中央道米沢北 IC 新潟山形南部連絡道路	置賜⑤

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

### 施策3

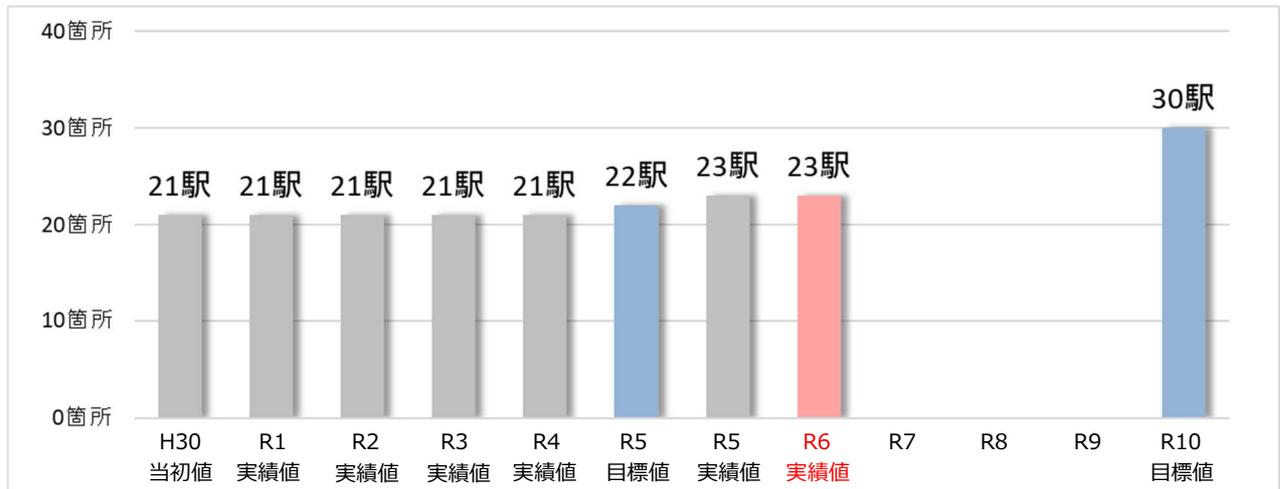
## 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

- i) ゲートウェイとなる「道の駅」等の整備促進に向けた市町村の取組を支援
- ii) 公共交通の交通結節点としての機能を持ち、活気あふれる「道の駅」の機能強化を支援
- iii) 地域の防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の周知

#### ■指標

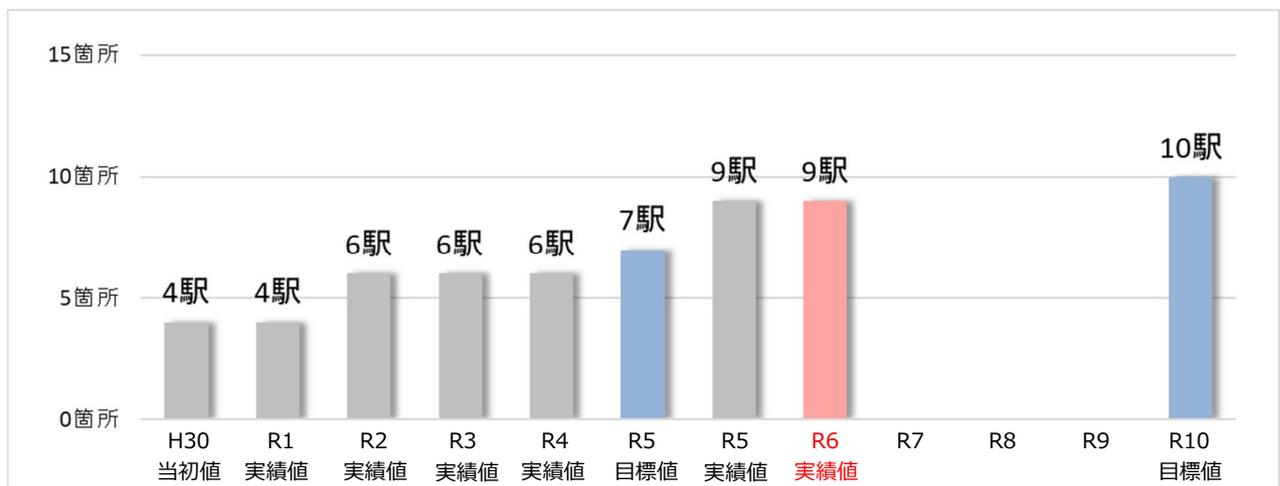
#### 指標(6) 山形らしい魅力のある「やまがた道の駅」の数

(R5)23 駅 ⇒ (R6)23 駅



#### 指標(7) 防災拠点機能を備えた「道の駅」の数\*

(R5)9 駅 ⇒ (R6)9 駅



※防災拠点機能を備えた道の駅：にしかわ、いいで、むらやま、とざわ、白い森おぐに、天童温泉、尾花沢、米沢、やまがた蔵王

■実施事業例1 【山形らしい魅力ある「やまがた道の駅」の整備】

<p><b>事業名</b></p>	<p>「道の駅おおえ」リニューアル整備事業  <small>にしむらやまくんおおえまちおおあざふじた</small>          (西村山郡大江町大字藤田 地内)</p>
<p><b>事業内容</b></p>	<p>平成 10 年に開設した「道の駅おおえ」の老朽化や駅舎・駐車場の狭さを解消するため、町で実施するリニューアル工事に伴い、駐車場整備等を実施した。          「道の駅おおえ」のリニューアルにより、隣接する温泉施設に観光客を誘導する等、地域住民の憩い場としての効果が期待される。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">地図出典 : Copyright(c) N T T インフラネット All Rights Reserved</p>
<p><b>R 6 整備内容</b></p>	<p>(令和 6 年 10 月 5 日 リニューアルオープン)</p> 

■達成状況と今後の取組み

【令和6年度の達成状況】

駅名	市町村	事業内容
道の駅「おおえ」	大江町	既存の道の駅の再整備

【整備中の道の駅（参考）】 ※基本構想が公表されている道の駅を記載

駅名	市町村	事業内容
道の駅「烏海」	遊佐町	既存の道の駅の移転整備
道の駅「あつみ」	鶴岡市	既存の道の駅の移転整備
道の駅「むらやま」	村山市	既存の道の駅の移転整備
道の駅「新庄エコロジーガーデン原蚕の杜」	新庄市	新たな道の駅整備
道の駅「（仮称）さくらんぼ東根」	東根市	新たな道の駅整備

など

【今後の取組み】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村による「道の駅」の新設や移転に関する取組みへの技術的支援</li> <li>・山形らしい魅力ある「道の駅」の整備・活性化を技術的支援</li> <li>・防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の整備促進</li> <li>・道の駅の情報発信（「やまがた『道の駅』車旅案内」の企画・配布等）</li> </ul>
---

など

## 2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

### 施策4

防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

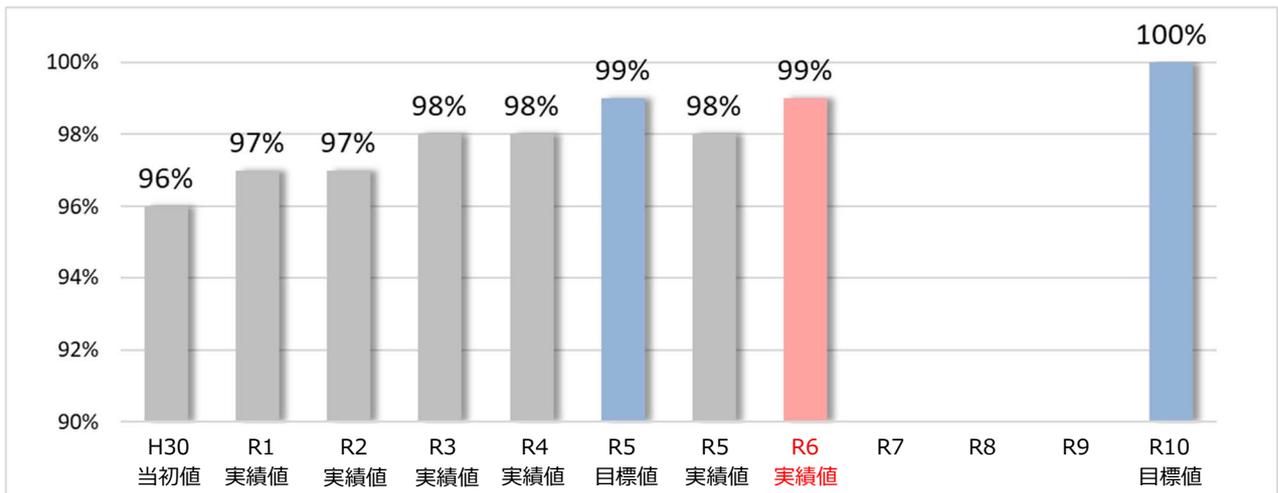
#### ■取組方針

- i) 「緊急輸送道路」や「重要物流道路」とともに指定される「代替路」や「補完路」について、道路ネットワークの強化のため、橋梁の耐震化等を優先的に実施
- ii) 道路の防災対策を推進
- iii) 県土強靱化に向けた、災害に強い道路ネットワークの整備推進
- iv) 災害発生時における迅速かつ正確な交通規制・迂回路等の情報提供、孤立解消に向けた迅速な応急復旧等を実施

#### ■指標

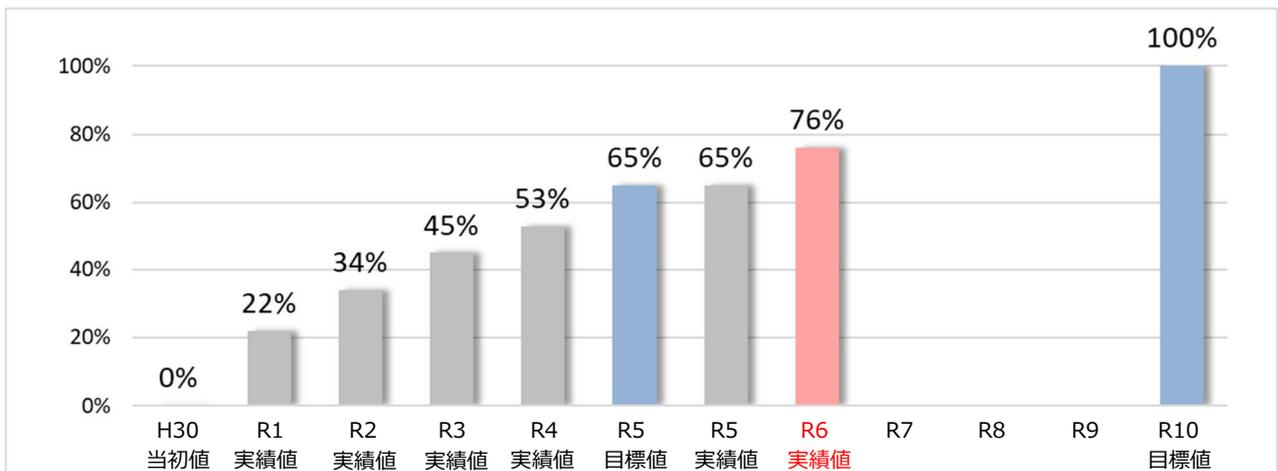
##### 指標(8) 緊急輸送道路における橋梁耐震化率

(R5)98% ⇒ (R6)99%



##### 指標(9) 重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率

(R5)65% ⇒ (R6)76%



■実施事業例 1 【緊急輸送道路における橋梁耐震化の対策】

<p><b>事業名</b></p>	<p>(一) 天童河北線【<sup>いままちばし</sup>今町橋】橋梁耐震化・橋梁補修 (<sup>てんどうしおおあざいままち</sup>天童市大字今町 地内)</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>一般県道天童河北線は、天童市と河北町を結び、付近に学校や工業団地が立地しており、通勤や通学等に利用される幹線道路である。</p> <p>本事業は落橋防止装置の新規設置を行い、耐震補強を図ったものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T 空間情報 All Rights Reserved</p>
<p><b>R 6 整備内容</b></p>	<p>○落橋防止装置新規設置、排水装置交換、支承金属溶射、支承補修など (令和 6 年度対策完了)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 1182 494 1220"> <p>(整備前)</p>  </div> <div data-bbox="925 1182 1340 1220"> <p>(整備後) 落橋防止装置新規設置</p>  </div> </div>

■実施事業例 2 【重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率】

<p>事業名</p>	<p>(主) 天童大江線【谷沢】法面对策 (寒河江市大字谷沢 地内)</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道天童大江線は天童市と大江町を結び、東北中央自動車道 天童 IC と、寒河江市内で国道 112 号および国道 287 号と接続する重要な幹線道路である。 当該箇所はアンカーとアンカー用受圧板を用いて、道路に隣接する法面の補強を行うものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T インフラネット All Rights Reserved</p>
<p>R 6 整備内容</p>	<p>○法面对策 L = 29m (令和 6 年度対策完了)</p> <p>(整備前)</p>  <p>(整備後) 法面对策工実施</p> 

■達成状況と今後の取組み

【令和6年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（一）天童河北線	天童市今町	今町橋耐震化・橋梁補修		事例 1
（主）天童大江線	寒河江市谷沢	法面对策		事例 2

など

【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
[村山地域]				
（国）286号	山形市防原町	棒原橋架替	村山⑦	
（主）山形朝日線	朝日町送橋	法面对策	村山⑧	

など

[最上地域]

（主）真室川鮭川線	真室川町川ノ内	栗谷沢橋取付	最上⑥	
（主）新庄次年子村山線	舟形町堀内	堀内橋架替	最上⑦	

など

[置賜地域]

（主）長井飯豊線	飯豊町小白川	大巻橋架替	置賜⑦	
（一）五味沢小国線	小国町小国小坂町	飯綱橋架替	置賜⑧	

など

[庄内地域]

（一）余目松山線	庄内町提興屋～酒田市竹田	庄内橋架替	庄内⑥	
（一）藤島由良線	三川町横山	防雪柵	庄内⑩	

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

## 施策5

### 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

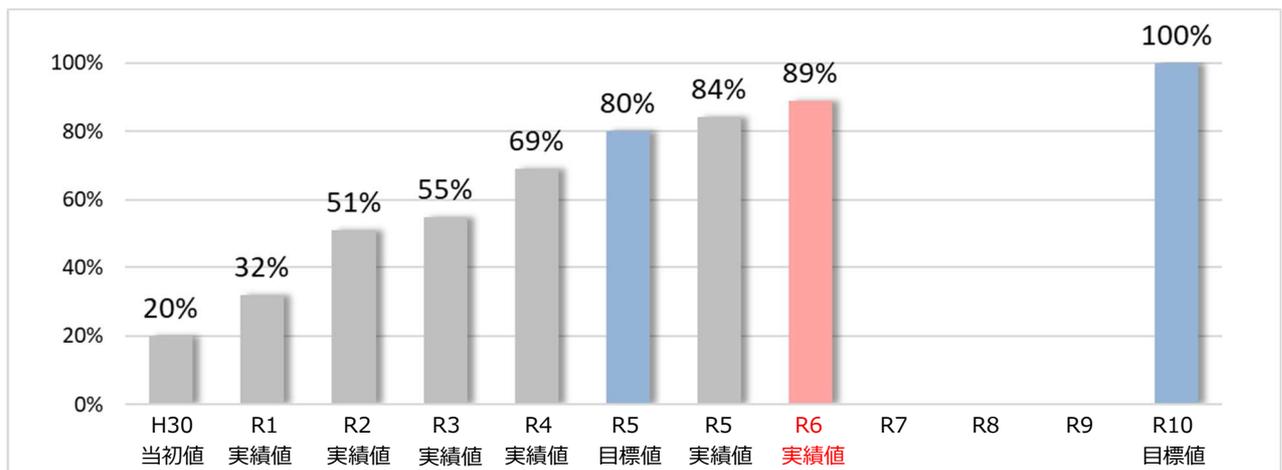
#### ■取組方針

- i) 子ども達の通学路の安全確保に向け、通学路合同点検等を踏まえ、歩道設置やゾーン30プラス等の交通安全対策を推進
- ii) 進行する高齢化を見据え、子どもだけではなく高齢者や障がい者にも優しい歩行空間を創出(無電柱化による障害物除去、段差解消等)
- iii) 限られた予算内で広く効果を発現できるよう、多様な交通安全対策を実施(側溝整備等による幅広路肩の整備、視認性確保のための路肩や交差点のカラーリング、植樹帯の除去による道路空間の再配分など)

#### ■指標

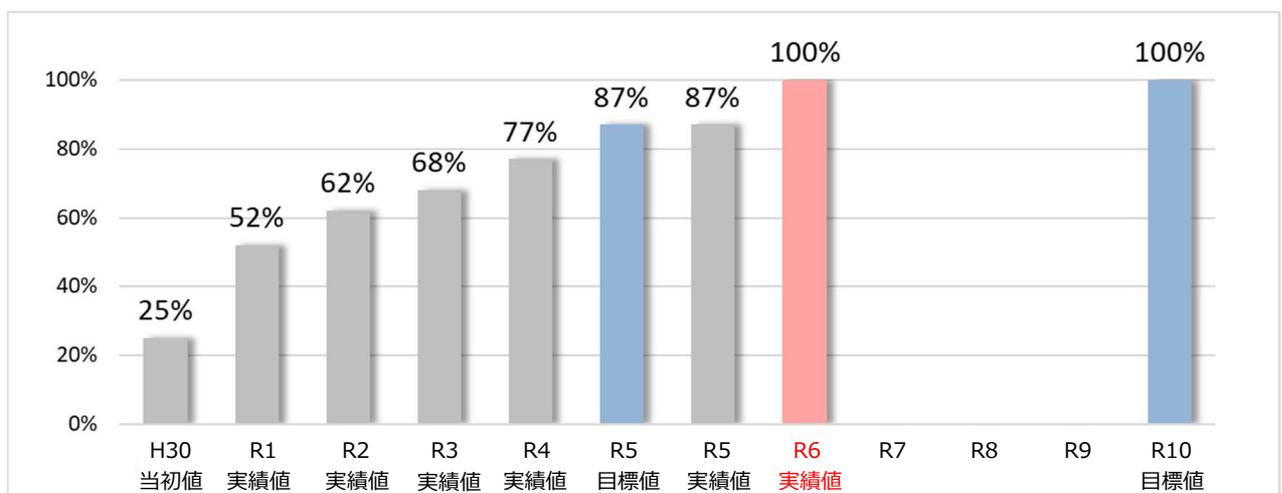
##### 指標(10) 通学路点検による要対策箇所の対策率※

(R5)84% ⇒ (R6)89%



##### 指標(11) 事故危険区間の対策率※

(R5)87% ⇒ (R6)100%



※通学路点検による要対策箇所及び事故危険区間はともに毎年更新されるが、いずれも2018年(平成30年)4月現在の数値を母数として目標設定する。

■実施事業例1 【通学路点検による要対策箇所の整備】

<p><b>事業名</b></p>	<p>(主) 米沢南陽白鷹線【西落合】<sup>にしおちあい</sup> 歩道整備          (南陽市西落合 地内)<sup>なんようしにしおちあい</sup></p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>主要地方道米沢南陽白鷹線は米沢市から白鷹町を結び、付近に学校や市役所が立地しており、通勤や通学で利用される幹線道路である。          当該区間は歩道が設置されておらず、通学児童にとって非常に危険な状況であったため、歩道整備を行うことで歩道の連続性の確保と歩行者の安全性の向上を図るものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) NTTインフラネット All Rights Reserved</p>
<p><b>R 6 整備内容</b></p>	<p>○歩道整備          L=353m (令和6年度供用)          (整備前) W=6.0(7.5)[-]m          (整備後) W=6.0(9.0)[11.5]m</p> 

■実施事業例 2 【事故危険区間の整備】

<p><b>事業名</b></p>	<p>(主) 山形天童線 区画線設置  <small>やまがたしおちあいまち</small>          (山形市落合町 地内)</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>主要地方道山形天童線は山形市から天童市に至る幹線道路であり、中心市街地へのネットワークを形成する重要な路線であることから自動車交通量が多い路線となっている。</p> <p>当該区間は合流による自動車同士の事故が多い箇所であるため、本事業では、注意喚起の路面標示や区画線を設置し、安全性の向上を図る。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T インフラネット All Rights Reserved</p>
<p><b>R 6 整備内容</b></p>	<p>○区画線設置</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(整備前)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(整備後)</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(整備前)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(整備後)</p>  </div> </div>

## ■達成状況と今後の取組み

### 【令和6年度における達成状況】

路線名	箇所名（工区）	事業内容	中期計画※	備考
（主）米沢南陽白鷹線	西落合工区	歩道整備		事例1
（主）山形天童線	－	区画線設置		事例2

など

### 【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
〔村山地域〕				
（一）十日町山形線	山形市飯田	歩道整備	村山⑩	
（一）樽石基点線	村山市長善寺（2）	歩道整備	村山⑪	
（主）山形朝日線	山辺町山辺	歩道整備	村山⑫	
（主）寒河江西川線	寒河江市洲崎（3）	歩道整備	村山⑭	

など

#### 〔最上地域〕

（国）344号	真室川町大沢（田郎）	歩道整備	最上⑨	
（一）泉田新庄線	新庄市太田踏切	歩道整備	最上⑩	

など

#### 〔置賜地域〕

（国）287号	白鷹町菖蒲（1）	歩道整備	置賜⑩	
---------	----------	------	-----	--

など

#### 〔庄内地域〕

（国）112号	酒田市本町	歩道整備	庄内⑪	
---------	-------	------	-----	--

など

※「山形県道路中期計画2028」における代表事例箇所の番号

## 施策6

予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

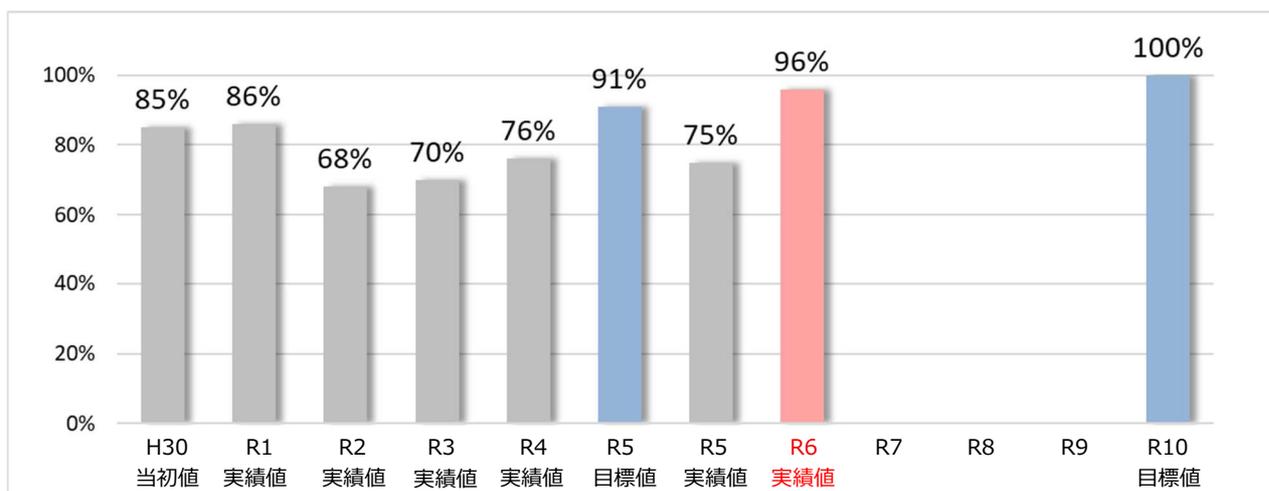
### ■取組方針

- i) 高度成長期に集中的に整備した橋梁の長期的な維持管理コスト縮減、予算の平準化を推進
- ii) トンネル等大型構造物について、定期点検を実施し、効果的・効率的な維持管理を実施
- iii) 舗装、雪寒施設等の道路施設について、計画的な維持管理を実施
- iv) 建設業界においても深刻化している高齢化や担い手不足下であっても、道路の適切な日常管理や除雪、災害対応等による円滑な交通を確保するため、AI等のデジタル技術を活用した維持管理の省力化・効率化を推進
- v) 地域や企業、NPO等の力を活かした県民協働による効率的な維持管理を実施

### ■指標

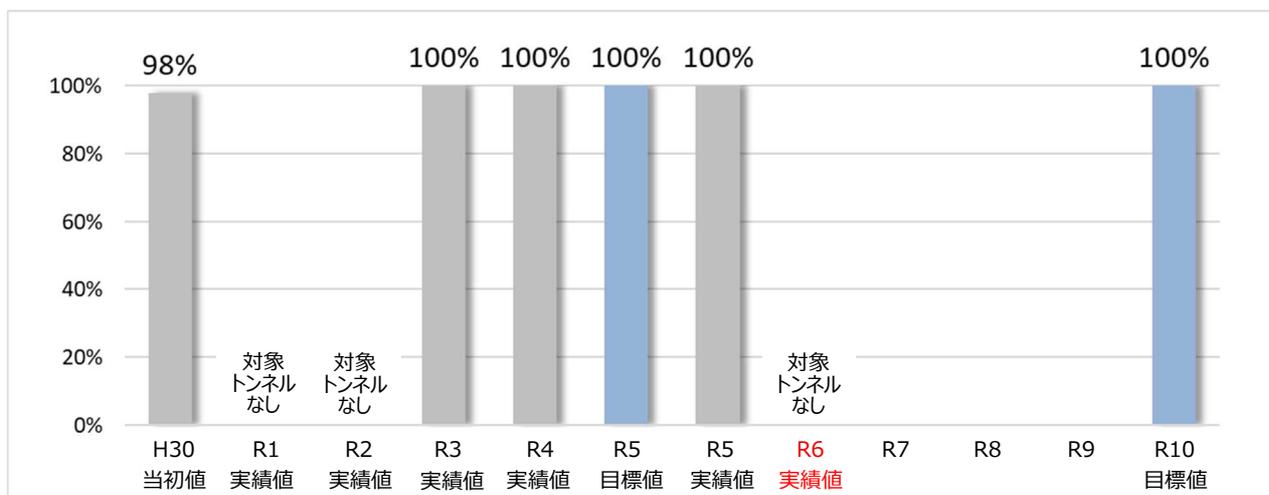
指標(12) 健全度が低い橋の対策率\*

(R5)75% ⇒ (R6)96%



指標(13) 健全度が低いトンネルの対策率\*

(R5)100% ⇒ (R6)-



※対策率：点検で5年以内に対策が必要と診断された橋梁・トンネルのうち、5年以内に対策が完了した橋梁・トンネルの割合

(例：R6実績値は、R1年点検で5年以内に対策が必要と診断された橋梁・トンネルのうち、R6年度までに対策が完了した橋梁・トンネルの割合)

■実施事業例1 【健全度の低い橋の対策】

<p><b>事業名</b></p>	<p>(一) 米沢浅川高畠線 <sup>かしらなしばし</sup>【頭無橋】 橋梁補修  <small>たかはたまちおおあざしいのちり</small>          (高畠町大字飯森 地内)</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>一般県道米沢浅川高畠線は、米沢市から高畠町を結び、付近に学校や町役場が立地しており、通勤や通学で利用される幹線道路である。</p> <p>本橋は、点検により床版や主桁(鋼)塗装、支承金属に劣化が見られたことから、断面補修や再塗装、支承金属溶射などを行うことで、橋梁の長寿命化を図るものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T インフラネット All Rights Reserved</p>
<p><b>R 6 整備内容</b></p>	<p>○床版断面補修、主桁(鋼)再塗装、支承金属溶射など          (令和6年度対策完了)</p> <p>(整備前)</p>  <p>(整備後) 主桁(鋼)再塗装</p>  <p>(整備前)</p>  <p>(整備後) 支承金属溶射</p> 

■実施事業例2 【健全度の低い橋の対策】

<p>事業名</p>	<p>(主) 山形山寺線【<sup>あらやぼし</sup>荒谷橋工区】橋梁更新・道路改良  <sup>やまがたしおおあざおおもり</sup>(山形市大字大森～<sup>てんどうしおおあざあらや</sup>天童市大字荒谷 地内)</p>
<p>事業概要</p>	<p>主要地方道山形山寺線は、山形市から天童市を結び、付近に観光地や学校が立地しており、多面的な機能を有する幹線道路である。          本事業は、老朽化した橋の架け替えを行うことで橋梁の長寿命化を図るものである。また、橋の架け替えに合わせて、歩道整備を実施することで歩行者の安全性向上も図るものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T インフラネット All Rights Reserved</p>
<p>R 6 整備内容</p>	<p>○橋梁更新、車道拡幅、歩道整備          L=880m (令和5年度供用)</p> <p>(整備前) W=5.5(6.5)[-]m</p> <p>(整備後) W=6.5(9.0)[16.0]m</p> 

## ■達成状況と今後の取組み

### 【令和6年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（一）米沢浅川高畠線	高畠町飯森	頭無橋橋梁補修		事例1
（主）山形山寺線	山形市荒谷	荒谷橋架替	村山⑱	事例2
（主）大江西川線	大江町月布	月布橋架替	村山⑳	

など

### 【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
-----	-----	------	-------	----

#### 〔村山地域〕

（主）山形山寺線	山形市十文字	高瀬川橋架替	村山⑲	
----------	--------	--------	-----	--

など

#### 〔最上地域〕

（一）平田鮭川線	鮭川村佐渡	鮭川橋補修	最上⑫	
（一）最上西公園線	最上町大堀	白山橋架替	最上⑬	

など

#### 〔置賜地域〕

（主）長井白鷹線	白鷹町鮎貝～荒砥	荒砥橋架替	置賜⑭	
（一）板谷米沢停車場線	米沢市大町	相生橋架替	置賜⑮	

など

#### 〔庄内地域〕

（国）345号	鶴岡市大宝寺	三川橋補修	庄内⑯	
（国）112号	酒田市本町	実生橋架替	庄内⑰	

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

### 3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

#### 施策7 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

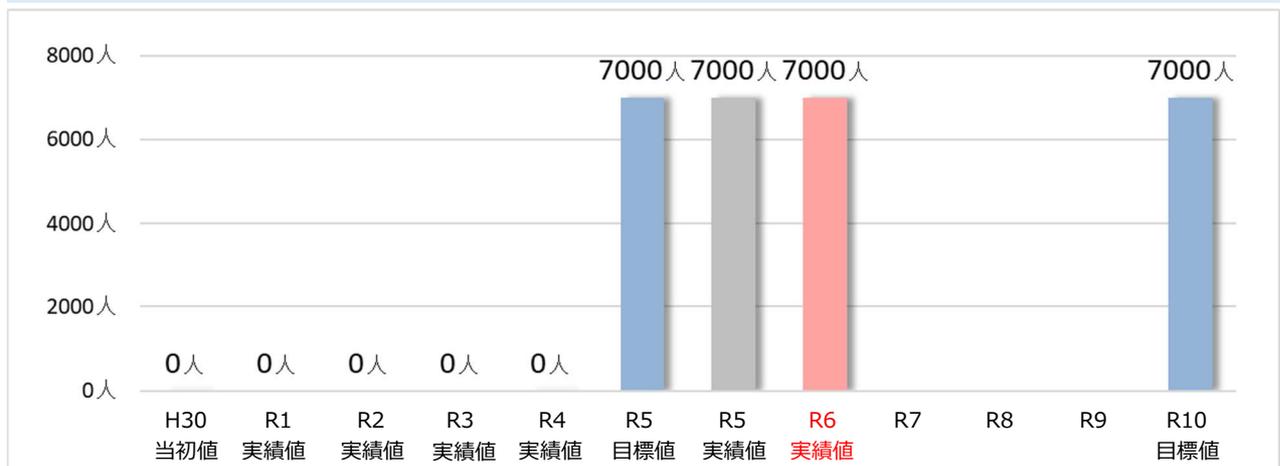
##### ■取組方針

- i) 一般国道や主要な県道において道路の改築・拡幅やバイパスの整備を推進
- ii) 地域の実情に応じた効率的な整備を推進(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)

##### ■指標

##### 指標(14) 緊急医療機関へ新たに10分でアクセスが可能になる人口

(R5)7,000人 ⇒ (R6)7,000人



##### 指標(15) 冬の円滑な交通が確保された堆雪幅のある道路延長

(R5)736km ⇒ (R6)739km



■実施事業例1 【冬期の円滑な交通を確保するための道路整備】

<p>事業名</p>	<p>(一) 白滝宮宿線【道陸工区】道路改良  <small>あさひまちおおあざたろうあざどうろく</small>          (朝日町大字太郎字道陸 地内)</p>
<p>事業概要</p>	<p>一般県道白滝宮宿線は、朝日町白滝地区と町の中心である宮宿地区を結ぶ幹線道路である。当該区間はスノーシェットの老朽化が著しいうえ、狭隘で車両のすれ違いが困難であり、防災危険箇所にもなっているため、スノーシェット部を回避する「道陸橋」を整備することで円滑な交通を図るものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) NTTインフラネット All Rights Reserved</p>
<p>R6 整備内容</p>	<p>○道路改良（道陸橋整備）、スノーシェット撤去          L=620m（令和5年度供用）</p> <p>(整備前) W=4.1(5.1) m</p>  <p>(整備後) W=5.5(8.5) m</p> 

## ■達成状況と今後の取組み

### 【令和6年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（一）白滝宮宿線	道陸工区	道路改良(道陸橋整備) ・スノーシート撤去		事例 1

など

### 【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
[村山地域]				
（国）458号	中山町金沢	道路改築	村山 <sup>23</sup>	
（一）東山七浦線	山形市風間	道路改築	村山 <sup>24</sup>	

など

#### [最上地域]

（主）新庄戸沢線	新庄市升形	踏切立体化（下馬踏切）	最上 <sup>14</sup>	
（主）真室川鮭川線	鮭川村佐渡坂	道路改築	最上 <sup>15</sup>	
（一）砂子沢小又釜淵線	真室川町小又	道路改築	最上 <sup>16</sup>	
（主）真室川鮭川線	真室川町釜淵	視距改良	最上 <sup>17</sup>	
（一）東法田大堀線	最上町野頭	道路改築	最上 <sup>18</sup>	

など

#### [置賜地域]

（主）山形南陽線	南陽市板宮	道路改築	置賜 <sup>16</sup>	
（一）米沢環状線	米沢市本町	道路改築	置賜 <sup>17</sup>	
（主）米沢飯豊線	川西町菅沼峠	道路改築	置賜 <sup>18</sup>	

など

#### [庄内地域]

（国）344号	酒田市安田	安田バイパス	庄内 <sup>14</sup>	
（主）菅野代堅苔沢線	鶴岡市山五十川（1）	道路改築	庄内 <sup>16</sup>	

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

## 施策8

### 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

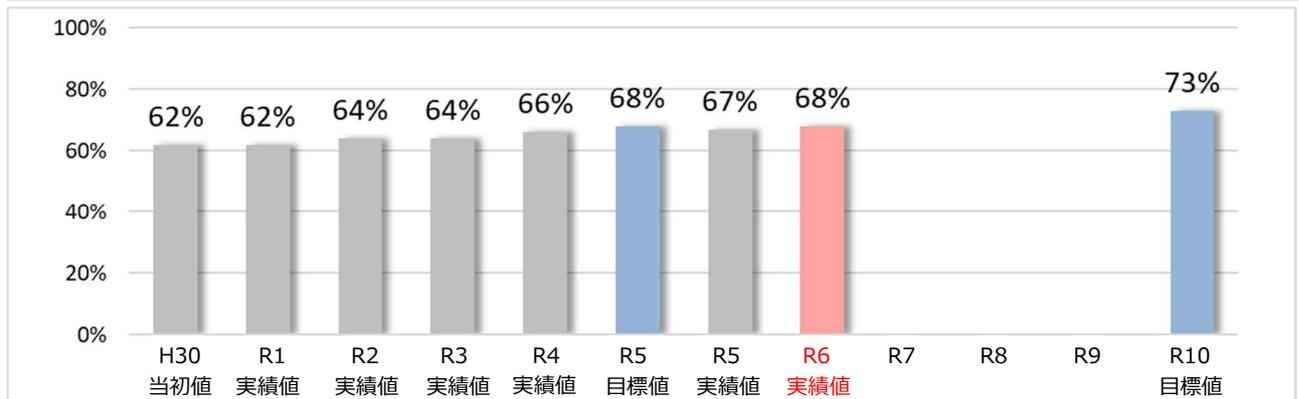
#### ■取組方針

- i) 都市部における街路事業の整備を推進
- ii) 良好な景観を創出する無電柱化や賑わい空間形成に向けた取組を推進
- iii) バイパスの整備や交差点改良等による渋滞対策を推進するとともに、最新データや地域の実際の交通状況を踏まえ主要渋滞箇所の見直しを実施

#### ■指標

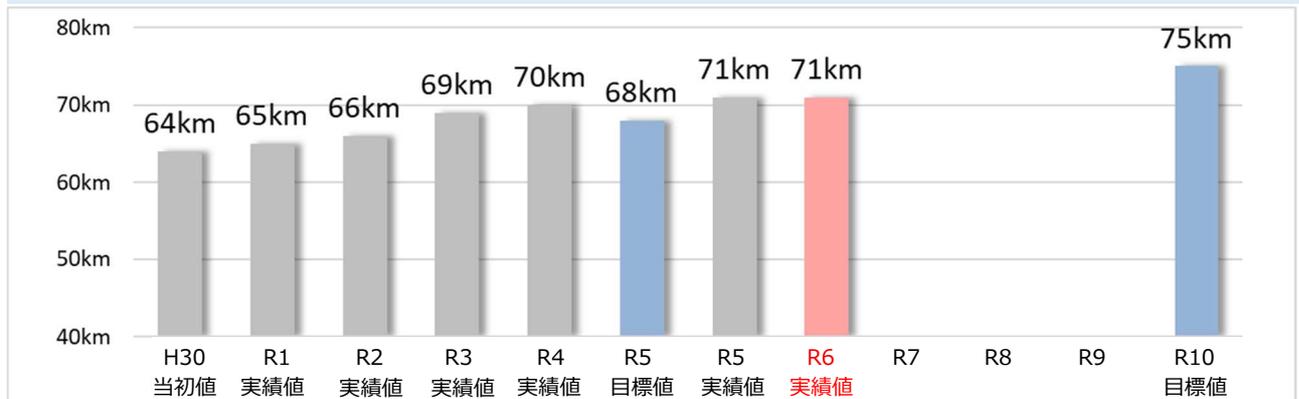
##### 指標(16) 都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備率

(R5)67% ⇒ (R6)68%



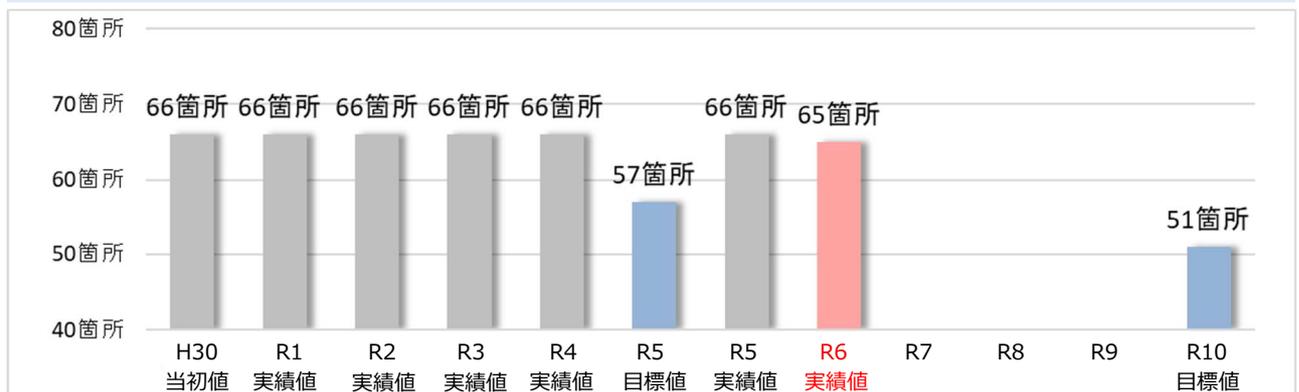
##### 指標(17) 無電柱化の整備延長

(R5)71km ⇒ (R6)71km



##### 指標(18) 市街地エリアにおける主要渋滞箇所数

(R5)66箇所 ⇒ (R6)65箇所



■実施事業例1 【都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備】

<p><b>事業名</b></p>	<p>(都) 道形黄金線【馬場町(1)】歩道整備・無電柱化 (鶴岡市馬場町 地内)</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>都市計画道路道形黄金線は、鶴岡市の環状線となる国道 112 号と国道 345 号を結び、市中心部を南北に縦断する都市幹線街路である。当該区間は、市役所や災害医療拠点である荘内病院へ直結する路線であることから、山形県地域防災計画において第 1 次緊急輸送道路に指定されており、防災上も重要な路線である。</p> <p>本事業は、電線共同溝による無電柱化を行い、災害時における都市防災機能の向上を図るものである。また、朝陽第三小学校の通学路に指定されていることから、歩道整備などの安全対策を行うことで通学路の安全確保を図るものである。</p>  <p style="text-align: right;">地図出典：Copyright(c) N T T インフラネット All Rights Reserved</p>
<p><b>R 6 整備内容</b></p>	<p>○歩道整備・無電柱化</p> <p>L=228m W=19m (車道両側に幅 4.5mの歩道を設置) (令和 6 年度供用)</p> <p>(整備前) W=6.0(10.9)[-]m</p> <p>(整備後) W=6.5(10.0)[19.0]m</p> 

■実施事業例2 【市街地エリアにおける主要渋滞箇所数】

<p><b>事業名</b></p>	<p>(主) 米沢猪苗代線【丸の内】交差点改良  <small>まるのうち</small>  <small>よねざわしまるのうち</small>  <small>(米沢市丸の内 地内)</small></p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>主要地方道米沢猪苗代線は米沢市から福島県北塩原村を結ぶ幹線道路であり、当該区間は付近に上杉神社や伝国の杜といった観光地や学校、市役所が立地しており、自動車交通量も歩行者の通行も多い箇所となっている。</p> <p>本事業は、大型車両右左折時の支障や日常的な渋滞を解消するため、右折レーンの新設や最小限の滞留長を確保し、交差点を拡幅する改良により渋滞の緩和と交通安全の向上を図るものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T インフラネット All Rights Reserved</p>
<p><b>R 6 整備内容</b></p>	<p>○交差点拡幅・右折レーン新設・滞留長確保  L=110m  (令和5年度供用)</p> <p>(整備前) W=5.5(7.0)[10.0]m                      (整備後) W=6.0(7.0)[10.0][18.0]m</p> 

## ■達成状況と今後の取組み

### 【令和6年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（都）道形黄金線	鶴岡市馬場町（1）	自歩道・無電柱化	庄内⑱	事例1
（主）米沢猪苗代線	米沢市丸の内（門東交差点）	交差点改良		事例2

など

### 【今後の取組み】

路線名	箇所名	事業内容	中期計画※	備考
〔村山地域〕				
（都）旅籠町八日町線	山形市本町	4車線化・無電柱化	村山⑳	
（都）東原村木沢線	山形市木の実町	4車線化・無電柱化	村山㉑	
（主）上山蔵王公園線	山形市蔵王温泉（3）	歩道・無電柱化	村山㉒	

など

#### 〔最上地域〕

（都）北本町飛田線	新庄市新町	自歩道・無電柱化	最上㉓	
-----------	-------	----------	-----	--

など

#### 〔置賜地域〕

（都）赤湯停車場線	南陽市二色根	自歩道・無電柱化	置賜㉔	
（都）長井駅海田線	長井市栄町	自歩道・無電柱化	置賜㉕	

など

#### 〔庄内地域〕

（都）本町東大町線	酒田市本町（1）	自歩道・無電柱化	庄内⑲	
-----------	----------	----------	-----	--

など

※「山形県道路中期計画 2028」における代表事例箇所の番号

## 施策9

### 山形の特徴を活かした道路ストック(施設)をかしこく使うみちづくりの推進

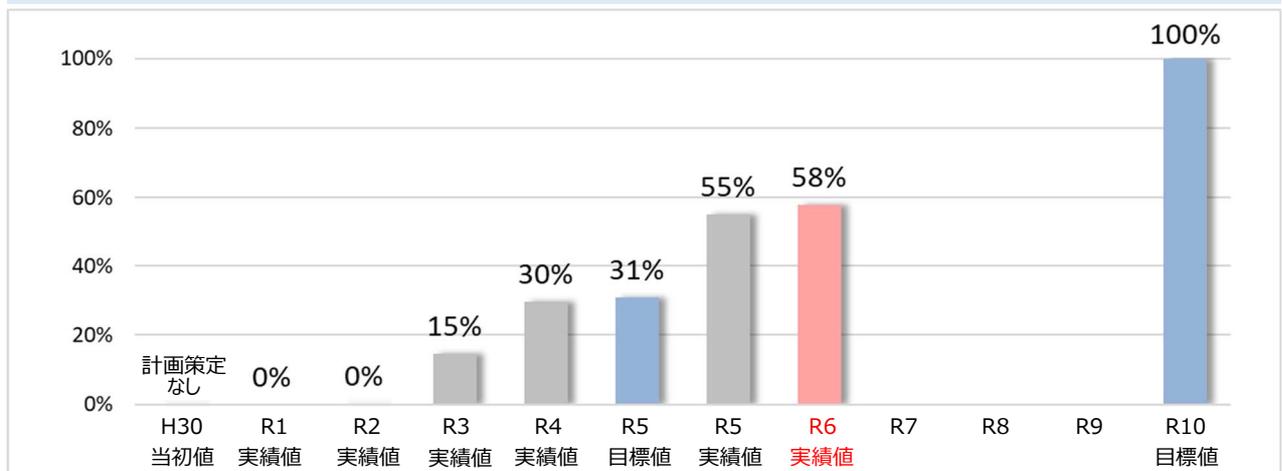
#### ■取組方針

- i) 自転車ネットワーク計画を踏まえた自転車利用環境の整備に向け、自転車通行帯としても利用できる冬季の堆雪幅を確保した“山形らしい”みちづくりを推進
- ii) 県外・国外からの来訪者にも分かりやすい道路標識の整備を推進
- iii) プローブ情報を用いた渋滞対策・交通安全対策の検討及び実施

#### ■指標

##### 指標(19) 県及び市町村の自転車ネットワーク計画に位置付けられた 県管理道路における自転車利用環境整備率

(R5)55% ⇒ (R6)58%



※現時点ではネットワーク計画が策定されているのが山形県と寒河江市と山形市のみであるため、他市町村のネットワーク計画が策定された時点で、目標値の変更を行う予定。

■実施事業例1 【自転車利用環境整備】

<p><b>事業名</b></p>	<p>山形自転車ネットワーク計画に基づく整備 自転車通行空間の確保                  (国) 113号 <small>ふかぬま</small> <small>ひがしおまたまくんたかはたまちのおおあざふかぬま</small>                  【深沼】 (東置賜郡高畠町大字深沼 地内)</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>一般国道 113 号は、置賜地域北部を東西に横断し、東北中央自動車道・国道 13 号・国道 113 号赤湯バイパスとの交差点に接続する、置賜地域と周辺地域を繋ぐ重要な幹線道路である。                  当該区間は一部歩道が整備されておらず、自転車ネットワーク計画の地域ルートに選定されているが、路側帯も狭隘なため歩行者・自転車共に危険な状況であった。                  本事業は、歩行者や自転車の安全な通行空間の確保を図るものである。</p>  <p>地図出典：Copyright(c) N T T インフラネット All Rights Reserved</p>
<p><b>R 6 整備内容</b></p>	<p>○道路改良、歩道・自転車通行帯の設置                  (令和 6 年度対策完了)</p> <p>(整備前)</p>  <p>(整備後) 歩道・自転車通行帯の設置</p> 

## ■達成状況と今後の取組み

### 【令和6年度までの取組み】

山形県自転車活用推進計画の策定（第1次：R1.8、第2次：R4.3、第2次増補版：R7.3）  
※山形県自転車ネットワーク計画は『第2次山形県自転車活用推進計画』の一部に位置付け  
寒河江市自転車活用推進計画の策定（第1次：H31.3、第2次：R6.1）  
山形市自転車活用推進計画の策定（R4.3）

### 【令和6年度の達成状況】

路線名	工区名（箇所）	事業内容	中期計画※	備考
（国）113号	高畠町深沼	自転車通行空間の確保		事例1

など

### 【今後の取組み】

山形県自転車ネットワーク計画に基づく整備  
寒河江市自転車ネットワーク計画に基づく整備  
山形市自転車ネットワーク計画に基づく整備

# 3 総括

## ■山形県道路中期計画指標 令和6年度の達成状況

- 19の指標のうち、12の指標で前年度からの進捗が見られた。  
また、前回、中間目標値(R5年度末)に未達の5つの指標のうち、4つの指標が中間年度(R5年度)から1年遅れで当該目標値を達成した。
- 残りの指標(18)「市街地エリアにおける主要渋滞箇所数」については、前年度から進捗が見られたものの、実績値が伸び悩んでいることから、目標値の達成に向けて取組を加速する必要がある。
- 一方で、3つの指標については、最終目標値(R10年度末)を達成しており、他の指標についても当該目標値の達成に向け、引き続き事業進捗を図る。

9つのみちづくり施策	指標名	当初値 ※H30年度末	R5実績値 (前年からの変化)	R6実績値 (前年からの変化)	中間目標値 ※R5年度末	目標値 ※R10年度末
1 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手	(1) 高速道路の供用延長(供用率)	259km (76%)	293km (86%) (+7km, 2%)	293km (86%) (変化なし)	293km (86%)	320km (94%)
	(2) 地域高規格道路の供用延長(供用率)	29km (29%)	36km (36%) (+7%)	42km (42%) (+6%)	42km (42%)	56km (56%)
2 広域道路ネットワークを活かす追加IC(スマートIC含む)及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進	(3) ICへ30分でアクセスできる人口の割合	65%	73.3% (+0.7%)	73.4% (+0.1%)	73%	97%
	(4) ICへ10分でアクセスできる工業団地数	35箇所	44箇所 (+3箇所)	44箇所 (変化なし)	43箇所	65箇所
	(5) ICへ30分でアクセスできる主要な観光地数	59箇所	84箇所 (+2箇所)	86箇所 (+2箇所)	79箇所	109箇所
3 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援	(6) 山形らしい魅力のある「やまがた道の駅」数	21駅	23駅 (+2駅)	23駅 (変化なし)	22駅	30駅
	(7) 防災拠点機能を備えた「道の駅」数	4駅	9駅 (+3駅)	9駅 (変化なし)	7駅	10駅
4 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化	(8) 緊急輸送道路における橋梁耐震化率	96%	98% (変化なし)	99% (+1%)	99%	100%
	(9) 重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率	-	65% (+12%)	76% (+11%)	65%	100%
5 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進	(10) 通学路点検による要対策箇所の対策率	20%	84% (+15%)	89% (+5%)	80%	100%
	(11) 事故危険区間の対策率	25%	87% (+10%)	100% (+13%)	87%	100%
6 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進	(12) 健全度が低い橋の対策率	85%	75% (-1%)	96% (+21%)	91%	100%
	(13) 健全度が低いトンネルの対策率	98%	100% (変化なし)	- (-)	100%	100%
7 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進	(14) 救急医療機関へ新たに10分でアクセスが可能になる人口	-	7,000人 (+7,000人)	7,000人 (変化なし)	7,000人	7,000人
	(15) 冬季の円滑な交通が確保された堆雪幅のある道路延長	703km	736km (+11km)	739km (+3km)	729km	755km
8 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進	(16) 都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備率	62%	67% (+1%)	68% (+1%)	68%	73%
	(17) 無電柱化の整備延長	64km	71km (+1km)	71km (変化なし)	68km	75km
	(18) 市街地エリアにおける主要渋滞箇所数	66箇所	66箇所 (変化なし)	65箇所 (-1箇所)	57箇所	51箇所
9 山形の特色を活かした道路ストック(施設)をかきこく使うみちづくりの推進	(19) 県及び市町村の自転車ネットワーク計画に位置付けられた県管理道路における自転車利用環境整備率	-	55% (+24%)	58% (+3%)	31%	100%

# 令和7年度 山形のみちづくり評議会 議事要旨

## ■ 日時・場所

令和8年3月6日（金）15:00～16:30（山形県自治会館 602号会議室、WEB 併用）

## ■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、中谷委員、塩原委員、宮原委員、佐藤委員、岡本委員、永尾委員

## ■ 議事概要

### 議題 令和6年度 道路事業の達成度報告

（事務局説明）

- ・ 計画に掲げる19指標のうち12指標で進捗が見られた。
- ・ 前年度時点で中間目標値（R5年度末）に未達だった5つの指標のうち、4つの指標が中間年度（R5年度）から1年遅れで当該目標値を達成した。
- ・ 残りの指標18「市街地エリアにおける主要渋滞箇所数」については、前年度から進捗が見られたものの、実績値が伸び悩んでいることから、最終目標値の達成に向けて取組を加速する必要がある。
- ・ 一方、3つの指標は最終目標値（R10年度末）を達成しており、他の指標についても当該目標値の達成に向け、引き続き事業進捗を図る。
- ・ 全体的に概ね予定通り取組が進捗している。

（委員からの主な意見）

- ・ 施策8「街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進」については、あくまで道路事業の視点から街なかにおける賑わい創出に資する指標を選定している旨をわかりやすく示せるとよい。
- ・ 観光推進の視点で、道の駅や観光拠点へのアクセスの案内を強化していただきたい。
- ・ 山形県は降雪量が多いため、堆雪幅を確保した道路整備をぜひ推進していただきたい。
- ・ 山形の特性を活かしたみちづくりの視点では、自転車道の幅員を全国基準より広めの値とすることで冬期は堆雪エリアとして活用するなど、検討の余地があると考えられる。
- ・ 高規格道路について、東北中央自動車道の整備が進んでいるため、今後は太平洋側と日本海側を繋ぐ道路の整備が重要である。

以上